

出っ歯(上顎前突)

前歯が出ているのが気になると来院されました。上の前歯が下の前歯に深くおおっています。また、唇が閉じにくく、口元に力が入ってしまいます。



診断の結果、上の顎に対して下顎全体が後退していたので下顎を前方へ誘導する装置を装着してもらいました。この装置は装着時に発音や呼吸に対する障害が少なく、1日中装着でき、装着時間が長いほど優れた効果が得られます。約2年の間装着しました。



永久歯がすべて萌えそろう、垂直的(上下的)な被蓋は改善されましたが水平的(前後的)な距離がまだ大きい状態です。下の歯も少しでこぼこがあったためマルチブラケットという歯全体に装置を装着。



治療を始めてから約3年後の状態です。

【矯正治療のリスク副作用等】

治療上のリスク副作用としてカリエス、歯根吸収、歯肉退縮、顎関節症、失活歯、クラック、根の露出、骨隆起などが起こる可能性があります。

このようなリスク副作用が起こらないよう、注意深く最善を尽くして治療しております。



